

議員説明会 会議録

1 開催日時

令和7年12月5日（金曜日） 午前11時55分 ～ 午前12時14分

2 件名

社会資本整備総合交付金事業における交付金返還について

3 議事録

（岩間総合政策部長）

それでは再開させていただきます。

本日の項目の社会資本整備総合交付金の交付金返還について、建設部下水道課の担当となります。

蛭田建設部長。

（蛭田建設部長）

本日はお忙しい中、このようなお時間をいただきましてありがとうございます。

今回、社会資本整備総合交付金の返還というものが生じまして、その内容についてご説明申し上げたいと思います。

建設部下水道課が行っている公共下水道施設の長寿命化対策につきましては、財源として社会資本整備総合交付金という国の交付金を活用してございます。

令和5年度に実施したマンホールポンプの改築更新工事において必要な資材の不足により、制御盤の納期が見通せなくなったという事象が発生しまして、工事の費用を繰越しする必要が生じたというものでございますが、財源である交付金の繰越手続きに遺漏があり、繰越した工事の財源とすることができなかったことから、交付金の返還を行うことになったものでございます。

対象工事は、花巻公共下水道 高木第1号・丸加団地マンホールポンプ機械・電気設備改築更新工事で、契約金額は1,903万円、該当する交付金は951万5千円で、交付金額がそのまま返還額となるものでございます。

原因につきましては、当該工事はマンホールポンプ施設のポンプそのものと、そのポンプを制御する制御盤の更新をする工事ですが、令和5年12月に制御盤の製作に必要なケーブル類がメーカー側で受注停止となったことから、制御盤の納期、納品時期が見通せなくなったので、請負者から口頭で報告がありました。

納期未定であったものの、繰越工事となる可能性を鑑み、必要な繰越手続きを行うべきでありましたが、下水道課内での当該工事の情報や状況の共有が十分にできておらず、交付金の繰越手続きの時期を逸し、必要な繰越手続きを行わなかったものであり、繰越としない前提で交付金を受領していたために、繰越した工事の財源には充てられないということから、交付金の返還をすることになったものでございます。

先ほど申し上げたとおり、返還額は951万5千円であります。

社会資本整備総合交付金は繰越工事があった場合には、翌々年度の交付金額の確定という手続きを経て、確定するものであり、本件につきましては、令和7年10月に交付金額

の確定があり、令和8年1月の返還を予定しているものでございます。

本件が発生した原因としましては、担当職員間の連携不足、あとは組織として課内のチェック体制の欠如というようなことが言えると考えてございます。

再発防止としましては、工事の工程・進捗管理について、関係職員間の情報共有の徹底を図ってまいりますし、建設部としてもこういったことが起こらないように、共有しまして、二度と同じ轍を行わないよう、対策を講じていくことで考えてございます。

こういった事象につきまして以上でございまして、今回このような事が起こってしまったことについて、心からお詫び申し上げます。

申し訳ございませんでした。

説明は以上でございます。

（岩間総合政策部長）

このことにつきまして、皆様の方から確認したいこと等ありましたらお願いします。

桜井肇議員。

（桜井肇議員）

今、ご説明をいただきましたが、この高木、それから丸加団地、これいま丸加団地と言わないですよ。

中寺林民間団地。

こちら結構人口が多い地域なのですが、現在及び将来に対する住民の、この下水道使用に関しての支障は生じないだろうかということについて、お願い致します。

（岩間総合政策部長）

蛭田建設部長。

（蛭田建設部長）

お答え申し上げます。

この工事は材料が入らず、令和5年度内には完工できませんでしたが、次年度において、この工事は予定通り完成しておりまして、あの当時入ってこなかった材料もしっかりした形で入ってきておりまして、現状でも現地でポンプは稼働しております。

新しいものになってございますので、耐用年数の間は安心して使っていただけるように、今現状は稼働してございます。

（岩間総合政策部長）

その他、ございますでしょうか？

鹿討康弘議員。

（鹿討康弘議員）

何か仕組みは変えるのですか？

気をつけるとかそういうのとかはいいのですけど、具体的に仕組みを変えないと、また

再発するので、具体的な再発防止のための仕組みをどう変えるか、それをお聞きします。

（岩間総合政策部長）

蛭田建設部長。

（蛭田建設部長）

お答えいたします。

このことについて、よく事象を聞きますと、まず工事の関係者から情報が第一報は口頭で入ってまいります。工事の関係者も、やはり厳しいという情報については、市役所に速やかに伝えようとして行動されるということになってございます。

今回の事象を見てみますと、この口頭で入ってきた情報について、そういうことがあるならば、直に繰越の手続きが必要だということで、次の手に動くべきだったところが、なかなかそこが動かずで、業者に書類で報告をしてくれといったような対応をしたがために、後手に回ってしまったという原因がありました。

従いまして、建設部の中では、口頭で入った場合は、まずはその情報を速やかに課内で共有していただく。その情報によって次に何をすべきかというのを、職員個人ではなく、組織として議論していくようにしたいと思っています。

もう一つは、今回の事象というのは、ちょうど今頃の12月ぐらいに、次の3月までの工事が遅れそうだという情報が入っておりました。

この繰越手続きというのは年に1回、1月に県庁へ届出される手続きということもあって、そのチャンスを逃さないように12月中に一度、今現状やっている工事の間に合いそうなもの、間に合わなそうなものも含めて全部、一度チェックを業者さんとともにかけていただいて、それで繰越が必要な工事については、漏らさないように対応していくということで、まずは対応していきたいと思います。

仕組みと申し上げますと、本当はエラーが起こってもフォローするような仕組みを作りたいところではありますけども、まずは手続きに間に合うようにということで、職員一人一人に意識を持っていただくということをやっていこうと思っています。

ある意味ちょっと精神論になっているところについては、ちょっと歯がゆいところではあるのですが、そういった形で当面は進めていきたいと思っております。

（岩間総合政策部長）

鹿討康弘議員。

（鹿討康弘議員）

報告書で出すようにと言ったことが共有されてなかったですね。

報告書っていうか、その書類で出すようにすることが共有されてないのですよね。

そこで、日ごとの会議だとか終礼だとか、例えばその週に会議が仮にあったとすれば、そこで報告されてないのですよね。

そのような報告を求める会議をしているのですか。

(岩間総合政策部長)

蛭田建設部長。

(蛭田建設部長)

当時の状況を伺いますと、例えば週一度であるとか、通常はこういう大きな公共事業をやっている場合は、業者全員を集めて、1週に1回意見交換とかやっていることが多いのですが、当時においてはそういった会合はやっておりませんでした。個々の工事を個々の担当者が担当して、それぞれで情報を処理していたといったような状況がありました。

なので、そういう意味では、議員がおっしゃるように、そういった報告について上げなさいと言った後に、そのフォローがされてなかったというようになると思います。

(岩間総合政策部長)

鹿討康弘議員。

(鹿討康弘議員)

まあ起きてしまったことは仕方ないので、今後、再発防止するためには、ちょっと回答としては非常に不満です。

やはり仕組みを作らないと、必ずまた起こります。

人事異動があって、またいろんな人が出入りしたり、経験者がいなくなったりするわけですから、仕組みを作らないと、また必ず再発します。

例えば報告をするうえでも、やはり課内での共有化を図るための、いわゆるメールでCCして全部やる。

1日あったことをメールで課内にCCして送れば、それで済むわけです。

まあそういったことも含めた、仕組み作りしてもらえればなと思います。

(岩間総合政策部長)

蛭田建設部長。

(蛭田建設部長)

貴重なアドバイスありがとうございます。

今いただいたことを、我々の方でも身に刻んでですね。

建設部の中で、仕組みについてどのような仕組みができるか、いただいたような仕組みというものを検討しまして、再発防止に努めてまいりたいと思います。

ご助言ありがとうございます。

(岩間総合政策部長)

その他、ございますでしょうか？

照井明子議員。

(照井明子議員)

職員の配置です。

会計年度任用職員も増えてきておりますので、正規職員の負担が重くなっているんじゃないかなというふうな気もいたします。

そうした意味で、そういった人員配置。

特に、こういった下水道や建設関係が技術員職と関わってくると思うのですが、そうした人員配置ですね。

これが過去に比べてどうなのかと。

減ってないのかというような部分については、いかがでしょうか。

（岩間総合政策部長）

蛭田建設部長。

（蛭田建設部長）

令和7年度からですが、この当時は維持と改築の担当は一緒の係だったのですが、それを強化するという意味で、組織を2つに分けて、それぞれの専門性の高いところを、より専門に扱えるように、組織をこの事件の後に改編しておりまして、今年は同じような事象は当然起こっていませんということを確認しておりました。

市役所の全体としても下水道課について、その重要度はよく理解していただいておって、そういった形で組織強化というものを図っていただいているというふうに認識しております。

以後は、こんなことが起こらないだろうということで認識しています。

（岩間総合政策部長）

照井明子議員。

（照井明子議員）

一般の私のような、一般の市民とすれば、こういったことっていうのは、単純なミスであるというふうに捉えるのですね。

本当にそういった課内での情報共有が不足していたというふうに思っておりまして、単なる個々の資質の問題とかっていうようには解決できないだろう、というように思っております。

そういう意味では、あの今年度から少しずつ、そうした体制も改善されてきているっていうところにはありますけれども、やはり今の市全体としても働き方改革っていうのが進められております。

私は一番、市の職員の皆さんは本当に健全な職場環境の中で、市民に対して仕事が全うできる、そして人員配置っていうのは、どこの課でも必要なことではありますけれども、そういったことも視点に入れながら、まあ全体的にも研修してほしいなというふうに思っているところでございます。

これは意見です。

(岩間総合政策部長)

その他、ございますでしょうか？

及川恒雄議員。

(及川恒雄議員)

最終的に工事は終わったということですが、この補助の財源は何かに振替わったということで、別の特財に変わったのか、一般財源に変わったのか、そこだけ確認したいと思います。

(岩間総合政策部長)

蛭田建設部長。

(蛭田建設部長)

お答え申し上げます。

財源としては一般財源とさせていただいております。

(岩間総合政策部長)

その他、ございますでしょうか？

では、無いようでございますので、2つ目の項目についても説明を終了させていただきます。

それでは本日に予定しておりました2項目についての説明を以上とさせていただきます。

長時間に渡りまして、ありがとうございました。

議員説明会、終了いたします。